



駐車場がないため、お車は谷保駅北口周辺のコインパーキングをご利用ください。

- くにはちはたけんぼ
JR南武線谷保駅南口より徒歩15分。バス停「谷保天神」下車徒歩10分。
バス停「多摩青果市場前」下車徒歩3分。
- つちのこや（国立市谷保5119「やほろじ」内）
JR南武線谷保駅北口より徒歩5分。バス停「国立府中インター入口」下車徒歩2分。



NPO法人くにはち農園の会

NPO 法人 くにはち農園の会

わたしたち「くにはち農園の会」は、田んぼや畑を新しいアイデアで活用しようという市民有志で「くにはちはたけんぼ」を中心に活動をしてきました。そして2017年1月、「農のあるまちづくり」をこどもたちに受け継いでゆくため、より幅広く本格的な都市農業・農地の活動を展開するために、NPO法人となりました。わたしたちと一緒に、都市に残された農地の未来を一緒にカタチにしていきませんか？興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております！

理事長 小野 淳

事務局：東京都国立市谷保5119 やほろじ内
連絡先：090-6187-7994（副理事長 すがい）
kunitachinouen@gmail.com



くにはちはたけんぼ 検索

2017年1月 発行

くにはち農園の会が運営する「くにはちはたけんぼ」は、東京都国立市の南部地域、東京でも数少ない田んぼの残る田園風景の広がる地域にあります。

くにはち はたけんぼの1年

甲州街道を挟んで北に行くと住宅街。まちの中にある田畑ですが、春夏秋冬の自然の恵みを感じながら、一年を通じてさまざまな活動をしています。



●4月

春到来。里には桜が咲き、田んぼの畦道にはハコベやツクシが出てきます。畑ではカブ、レタス、小松菜、枝豆、トウモロコシの植え付けを行います。



●5月

こどもの日にはヨモギを摘んで草餅を作ります。畑では里芋、サツマイモ、トマト、ナス、綿の植え付け、イチゴや空豆の収穫、田んぼでは、もみをまきます。



●6月はじめ

田植え前の田んぼで育てていたジャガイモの収穫が終ると、用水が流れ、田んぼに水が入ります。トウキョウダルマガエルやザリガニ、メダカも現れます。



●6月なかば

水が入った田んぼで開催される「どろまみれ」イベントは毎年大盛況。この後、田んぼを耕し、しろかきをし、田植えと続き、はたけんぼに夏が来ます。



●7月はじめ

稲が育ってくると、夕方にはアマガエルが大合唱します。用水路の側道では、ヒマワリや朝顔の花が咲き、ミントも香ります。畑で育てた藍で藍染めもします。



●7月なかば

夏野菜の収穫も最盛期を迎えます。畑の石窯で焼いたピザは格別！「夏休み宿題大作戦」イベントでは、子どもたちが、さまざまな学びを楽しく体験します。



●8月

ヤゴが羽化してトンボになる頃、夏も本番。夏空と夕焼けが美しい季節です。ジャガイモなどの秋冬野菜を植え付けします。

●9月はじめ

用水が止まった田んぼは水抜きをします。畑では、白菜、キャベツ、大根の植え付けをします。畑の夏草で草木染めにも挑戦。

●9月おわり

数珠玉や綿を収穫。春に毛抜きをします。畑では、白菜、キャベツ、大根の植え付けをします。畑の夏草で草木染めにも挑戦。

●10月はじめ

大根、カブ、小松菜、空豆、イチゴの植え付けや、大豆、里芋、サツマイモ、ショウガは収穫。田んぼの稲刈りも始まります。

●10月なかば

みんなで手で刈った稲は、はぎかけて、天日干し。乾燥した稲や大豆は、昔の農具「唐箕(とうみ)」を使って、脱穀します。

●10月おわり

サツマイモ掘りのあとは、ハロウィンパーティ。カボチャをくりぬいて、ロウソクを灯した、ジャックオーランタンも並びます。



●11月はじめ

実りの季節到来。小さなお友達も収穫をお手伝い。大根を間引いたり、ジャガイモを掘ったり。市内では農業まつりや天下市も開催。

●11月なかば

待ちに待った収穫祭！みんなで育てた新米をたいて、芋煮をしたり、遊んだり、秋の高い空の下気持ちのよい一日を過ごします。

●12月

バラが実になる頃、日が暮れるのが早くなります。寝かせて甘くなった芋をたき火で焼き芋。大根、白菜、キャベツも収穫です。

●1月

餅つきで新しい一年を迎えるお祝い。畦道には春の七草も。堆肥を掘り起こすと立派なカブトムシの幼虫が。凧揚げも楽しい季節。

●2月

節分。みんなで大豆と麴(こうじ)で味噌づくり。はじめての体験にママも子どももとっても楽しそう。味噌が熟成するのは翌夏。

●3月

冬から春へ。谷保天満宮では梅まつり。オオイヌノフグリやクレソンが出てきます。ジャガイモやサラダ野菜も植え付けします。



田んぼや畑に足を踏み入れたことはありますか？誰でも楽しくおらかな気持ちで過ごし、学ぶこともできる田んぼや畑。そんな里山風景がここ、東京都国立市谷保には残っています。私たちは、古民家を田畑とつなげ、子育てを支援するコミュニティスペースとして活用しています。

ふれあい

用水が流れ田んぼがある谷保には、カエルやザリガニ、水生動物などの里山ならではの生きものたちがいます。大人も子どもも、里山の自然や植物、生きものたちとのふれあいを通して、四季折々移ろいゆく豊かな時間を実感することができます。



トウキョウダルマガエル
(準絶滅危惧種)

いばしよ

田んぼや畑はおだやかでのんびりとしています。人ごみが苦手、学校がきゅうくつ、のんびりぼーっとしたい…。そんなかたは、ぜひおこください。アニマルセラピーや乳幼児親子体験、小学生の放課後の居場所(学童クラブ)のプログラムも行っています。



ジャック&ダンディ

みんなで子育て

種をまき、芽が出て、成長を感じながら、実りを喜ぶ過程は、子育ても同じ。一人ひとりが自分らしく育ていけるよう、みんなで子ども達を見守り、様々な体験をします。小さな田畑と、どこか懐かしい古い民家で、大人も子どもも、心の土壌づくりを楽しみ、生きる力を育みましょう。

まちなかの はたけんぼ つちのこや 田畑と古民家が できること



都市農業 と子育て支援の新しいカタチ

2015年「都市農業振興基本法」が施行され、都市農業は農家だけではなく、都市で暮らすすべての人々にとって必要不可欠なものと認められました。世界のあちこちで都市農業・都市農地を活かした取り組みがはじまっています。また、2016年には「地域の子育て支援の充実」についても新制度が確立。わたしたちは国や行政とも協力・連携し、都市農業の可能性を広げ、価値を高め、「都市農業」と「子育て支援」の新しいカタチを実践、発信していきます。

ビルやマンションなど近代的な住居が多い中で、日本の昔ながらの庭や縁側のある古民家には、日本人が大切にしてきた「伝統」と「文化」、「ていねいな暮らし」の知恵があります。日本の春夏秋冬の季節の移ろいを五感で感じ、日々の暮らしをより豊かに、未来へつなげましょう。

防災

田んぼや畑は、災害時の一時避難場所として雨風をしのげるスペースになります。はたけんぼには、雨水タンク・太陽光発電・炊き出しカマド・緊急トイレなどの設備も完備。いざというときに備えて、防災を考え、地域との連携を行う場にしていきます。

まなびば

耕すこと育てること、作ること食ふること、暮らすことと生きること。そして教えること教わること。農家・建築家・大工・料理家・職人・動物飼育員・アーティスト…等々。子どもから大人までたのしめる多様な専門家からの学びを提供しています。



アマエル

地域の力と連携

田畑と古民家がコミュニティスペースになることで、地域のいろんなヒト・モノ・コトが集まり、混ざり合い、新しいアイデアが生まれます。大学など研究機関、地域団体、行政などと連携し、観光、コミュニティ、子育てなど、世の中の様々な課題と積極的に向き合っていきます。

くにたち農園の会では、くにたちはたけんぼを中心に
国立市谷保の環境を活かしてこんな活動を行っています。

森のようちえん 谷保のそらっこ



<http://www.facebook.com/yahosora>

連絡先: yahosora@outlook.com

☎070-6458-0105 (佐藤)



四季を感じながら遊び、身近な自然食や自然エネルギーについて学び、新しい価値を創造します。心も体も元気に子育てを楽しみ、その輪を広げています。

活動日: 月1~2回開催
(平日10:00-13:00)
対象: 0、1、2歳の親子、妊婦さん。
参加費: 2,000円/1回
(ミニランチ、おやつ付き)

放課後クラブ ニコニコ



<http://hatakenbo.org>

連絡先: hatakenikoniko@gmail.com (村井)

活動日: 毎週木曜日 14:30-17:30



畑が子どもたちの放課後の居場所となり、いきものや草木にふれて、異年齢の友だちと過ごすことで、自発的に遊びや学びを創造する力を身につけることを目的

としています。「畑」「いきもの」「アート」を軸に活動します。
対象: 小学校1~6年生
会費: 月会費2,500円、都度会費700円

こんな活動をしています

くにたちはたけんぼ



<http://hatakenbo.org>

貸し農園: kunitachinouen@gmail.com (小野)

田んぼ会員: hatakenbotanbo@gmail.com (武藤)



●貸し農園(1区画8坪)
企業や団体を対象に収穫体験や食育、交流や研修の場として畑をお貸しします。
年間利用料: 60,000円
有料で管理の手伝いも可。

●田んぼ会員(定員40組)
もみまき、田植え、草取り、稲刈り、脱穀、収穫祭まで、稲の生長をご家族で体験できるプログラム。
年会費: 20,000円

●オープンデイ(どなたでもお越しいただける開放日)

活動日: 土曜日、10:00-16:00(冬時間 11:00-15:00)

参加費: 100円(3歳以下無料)

田畑とつながる子育て古民家 つちのこや



「つちのこや」は、国立市谷保の甲州街道沿いにある「やぼろじ」の母屋で行われる子育て支援プロジェクト。「やぼろじ」は、江戸時代から続く旧家「本田

家」の敷地にある空き家を改築したシェアオフィス&コミュニティスペースです。月~土曜日まで日替りの食堂や親子で過ごせる場所を提供しています。

各申込や詳細についてはホームページをご覧ください。

お問合せについては、各連絡先へお気軽にどうぞ。

くにたち馬飼舎 リトルホースとふれあう会



<http://jack-dandy.cocolog-nifty.com>

連絡先: j.and.d2001@gmail.com (平島)

東京都動物取扱業登録: 12 東京都展第101623号



リトルホースの“ジャックとダンディ”。暮らしのそばで馬と親しむ、楽しさと豊かさを皆様へお届けします。出張ふれあいサービスも承っています。

●おうまさんクラブ
活動日: 毎月第3日曜
①10:30-11:30
未就学児/1,000円
②14:30-15:30
小学生/1,500円

取材・撮影・イベント協力



<http://noutenki.net/>

連絡先: ono@nou-tenki.com

☎090-2902-6147 (農天気: 小野)



大豆栽培体験などの食育プログラムはもちろん、婚活、忍者講習会、異文化、ハラルフードの勉強会など、食農にまつわる多様なイベント企画をサポート。

ワークショップ、勉強会や懇親会、子育てサークルなど、畑を会場に〇〇〇をしたいというご要望や、田んぼや畑、動物の撮影などもお気軽にご相談ください。